

一緒に 考えましょう講座

この講座は大学と市民をつないで、
東日本大震災後の日本を
共に考える公開講座です。
みなさまのご参加をお待ちしています。

2014年度
後半の予定

会場 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 4階大会議室

10月25日(土)

第22回 午後2時～4時

関口裕士さん 北海道新聞
本社報道センター記者

「原発事故と新聞報道
～取材現場からの報告～」

11月22日(土)

第23回 午後2時～4時

秋元信一さん 北海道大学
農学研究院教授(昆虫学)

「放射能汚染地域での生物調査：
放射能のアブラムシへの影響」

12月7日(日)

第24回 午後2時～4時

穴戸隆子さん 札幌市内の自主避難者
コミュニティ・桜会 代表

「札幌の避難者の現状
～避難から移住へ、その試み～」

トーク
セッション

広域連携で紡ぐ
新たなつながり

西山祐子さん 一般社団法人
みんなの手 代表理事

「京都の広域避難者の3年半を振り返って」

主催／ 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 家田研究室
お問い合わせ TEL 090-2813-4907 ieda@slav.hokudai.ac.jp
詳細は家田研究室HPの講座日程をご覧ください <http://lets-think.com>

共催 北海道の自然と命のネットワーク

原発事故と新聞報道

～取材現場からの報告～

関口裕士さん

北海道新聞本社報道センター記者

「3・11」の前と後で、世の中は大きく変わり、原発と向き合うメディアの姿勢も変わりました。東京電力福島第1原発事故の以前から原子力の取材を担当し、事故後は毎月福島に通っている北海道新聞報道センターの関口裕士記者が、これまでの原子力報道の問題点や今後の課題、福島や幌延、泊など実際の取材現場で感じたこと、考えたことを報告します。



講師紹介

せきぐち・ゆうじ 1971年大阪府出身。2000年北海道新聞入社。紋別支局、室蘭報道部、東京政経部（経済産業省など担当）を経て2011年3月から今年6月まで本社報道センターで原子力取材を担当。連載企画「原子力 負の遺産」で昨年日本ジャーナリスト会議（JCJ）賞を受賞。



第22回
一緒に考えましょう講座

と き：2014年10月25日(土)
第22回 午後2時～4時

ところ：北海道大学
スラブ・ユーラシア研究センター
4階大会議室

（札幌市北区北9条西7丁目 札幌駅北口から北大通りを北へ徒歩約5分。北大正門から北大構内へ、経済学部から入り、法学部2階渡り廊下を渡ってください）



主催／ 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 家田研究室
お問い合わせ TEL 090-2813-4907 ieda@slav.hokudai.ac.jp
詳細は家田研究室HPの講座日程をご覧ください <http://lets-think.com>
共催 北海道の自然と命のネットワーク